

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 北坂戸教室 保護者等数(児童数): 25 回収数: 17 割合: 68%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1		2	広くて良いと思います。	その日の児童の受け入れによりますが、できる限り特別に教室を分けている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1		3	一人一人細かく見れていると思います。	専門性のある方の採用を進めている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	件	3件	安全な設計だと思っています。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17件	1	1	3	子どもの特性に合った指導等していただいています。	保護者様だけのニーズではなく本人のニーズも踏まえ作成させていただいている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17				いろいろ考えていただいていると思います。	月に一度の全体会議で職員同士意見を出し合っている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	6件	1件	9件		コロナ禍の影響はあるが、近隣の施設で関われそうな機関を探ってみて、出来る事から実施していきたい。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	5	2	7	毎回内容や様子、その他丁寧に説明されている。	契約時にご説明している。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	18件	1		1	今後の課題など指導いただくこともある。	コロナ禍の影響でなかなか面談をする事が難しい状況ですが、送迎時などに保護者様と限定的な時間の中でお話しさせて頂いております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	2	1	1	助言などいただいている。	随時LINEや電話で相談は受け付けており相談や助言を行っている。 R5年5月よりペアレントトレーニングを実施済み。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	1		2		年二回(半年に一度)保護者会を行って実施している。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1		3	保護者の意見を尊重してもらえ、対応をしてくださっている。	出来る限り保護者様、児童様のご意向に合わせて対応を即時実施できるようにしている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1		1	連絡帳や口頭、LINE等で情報をもらえている。	送迎時や電話、HUGなどでのタイムリーなやり取りに努めている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15			2	活動内容等分かりやすく伝えてもらっている。	月に一度の会報の発行は継続していき、SNS発信やHUGでの公開も進めていく。
	14 個人情報に十分注意しているか	16			1	管理はしていただいている。	書庫での管理を徹底。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	2		2		契約時にご説明している。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1		3	きちんと行われていると思う。	契約時にご説明している。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	1			調理は楽しみにしています。この成長に合わせて助言もいただいています。	楽しく通所出来るように支援を行っています。
	18 事業所の支援に満足しているか	15	2			友だちと関わりながら遊んだり課題に取り組むことが増える嬉しい。 家で気づかなかった子どもの成長した点を教えてくれて、子どもを褒めるきっかけになり嬉しい。 いつも丁寧に指導していただいているありがたい。勉強や遊び、レクなどありがたい。	送迎時に教室での様子を報告している。 児童・保護者共に安心して通所できる事業所の運営に努めていく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こばんはうすさくら北坂戸教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			特性別に部屋を分けて療育することもある。活動に応じて部屋を使い分けている。
	2	職員の配置数は適切である	10			利用者の日ごとの人数により配置数を工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	2		段差が少なく、床はクッションフロアになっている。児童発達の児童でもつかまりやすい手すりの高さになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10			plan、do、は行っているがcheck、actionができていない。引き続きコミュニケーションを取る、情報の共有を徹底する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			送迎時や引き渡し、電話等で保護者様とお話する際に最近の様子、困り事等伺うようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			公開している。経験が浅いため分からない。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10			コロナ禍の影響のため行えていない。(第三者設置委員会の設置ができていない)
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			月1回の全体会議の中で研修を行っている。個別で研修を受けることもある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			保護者様のニーズに偏らずに本人の実態に合わせた計画を心がけている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10			全体会議で職員同士意見を出し合い立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			日ごと、週ごとの内容に変化を持たせて様々な経験ができるよう工夫している。月の中でもレベルアップを図った内容を実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10			活動以外に個々のレベルに合わせた課題を提供している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			利用者に合ったもの、遊び、飽きのこない活動を実施している。経験が浅いため分からない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			朝礼で1日の流れや活動内容を共有している。昼礼も行っている。もう少しスタッフ間でキャッチボールを行えると尚良い。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			夕礼時に共有できなかったことは翌日の朝礼屋礼で報告し、支援に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			日報の作成を行い、情報共有をしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	10				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			児童発達支援管理者以外にも現場スタッフが参加する事もある。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10			学校から学校通信を頂ける場合もある。連絡調整はスムーズな連携を図る努力を続けていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10			コロナ禍の影響の為行えていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10			コロナ禍の影響の為行えていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	3		コロナ禍の影響の為行えていない。まだそのような事例が発生していない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10			コロナ禍の影響の為行えていない。受講したい研修を申し出て受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	8		コロナ禍の影響の為行えていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10			コロナ禍の影響の為行えていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			送迎時に保護者様とコミュニケーションを図り、ご家庭の様子やデイでの児童の様子を共有している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10			コロナ禍の影響の為行えていないが令和5年度よりペアレント・トレーニングを実施済。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			契約時に必ず説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			送迎時にできる限り保護者様にも声をお聞きし、助言や支援が行えるように職員間でも共有を続ける。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10			半年に1度、保護者会を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			管理者が対応にあたることを一本化し、その日中に対応できるように心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			月に一度通信の発行、週二回のSNS投稿、LINEにて個別に児童の様子を送信している。
	35	個人情報に十分注意している	10			個人が特定できるものに関しては必ずシュレッダーをかけている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			ご希望に応じて面談や相談の時間を設けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	8		保護者様は招待しているが、コロナ禍の影響で地域住民は招待していない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			入職時にもスタッフで共有している。教室の部屋内への掲示や書庫にファイルを置きいつでも確認できるようにしている。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		消火訓練・避難訓練・通報訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		虐待防止委員会を設置し委員会、研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10		ご契約時に必ず保護者様への説明を行っている。職員へは入職自研修等の時間を利用し説明し周知している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		病院からのアレルギー詳細を保護者様からいただいている。アレルギーがある場合はおやつはご家庭で準備いただき、症状に支障がないように努めている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		夕礼、翌日の朝礼時にヒヤリハット等の確認、共有をしているが継続して続けていく。